

# 第1回大阪府立貝塚南高等学校 学校協議会議事録 No.1

日時：平成29年6月22日（木） 15:30～17:00

場所：大阪府立貝塚南高等学校 会議室

出席委員：

吉川 測 雄 氏

岸田 米 夫 氏

南 芳 治 氏

新田 佐智子 氏

福島 かおり 氏

欠席委員

井出 博 氏

## 1 学校長挨拶

挨拶の中で、学校経営推進費の支援やPTA、同窓会等の支援を受けて、全教室にプロジェクターを設置し、授業力向上に向けて取り組むことを話す

## 2 委員・事務局員の紹介

## 3 会長選出

会長を決定。また、会長が職務を代理する委員を指名。

## 4 会長挨拶

## 5 報告

### 1. 教務部

2 学期は学校行事や地域の行事など多いため、勉強がおろそかになりがちであり、指導強化が必要である。科目選択の希望調査用紙については、集計中なので次回の協議会で報告予定。

### 2. 生活指導部

生活指導の案件は年々減ってきているが、引き続き、緊張感を持って指導に当たっていくことが必要である。全体的に昨年よりも落ち着いている。

### 3. 保健総務部

安全衛生面では、特に今は水泳の授業での衛生面に重点を置いている。

また生徒の健康面への関心を高めるため、生徒の保健委員会を開催し、生徒に新聞・ポスターの作成をさせている。避難訓練では、4月には火災を想定したものを実施。今後は、10月に地震を想定した避難訓練を予定している。

### 4. 行事活動部

これから文化祭の準備が本格化していくので、生徒と協力して取り組んでいる。

文化祭については、前年度は招待制度の対象が3年生のみだったが、今年度は2年生に招待制度を拡大する。また、屋外ステージ部門を新たに試行。夏休みを中心に準備を行う予定。

クラブ活動については、特に文化部の入部率が課題である。1年生は全員に体験入部をするように時間を設けているが、入部率につながっていないのが現状である。

図書は開館業務を教職員全員で行っている。開館日を増やすことをめざしていく。

### 5. 進路指導部

6月24日に教育費に関する講演会を実施予定。3年生では、保護者にむけた奨学金説明会を実施した。看護医療の特別講習会を4月19日から実施している。

41期生の進路に関しては、大学進学率が40.9%で、昨年度より増えている。一般入試まで目標を持ってあきらめずに頑張った生徒が多かった印象を受ける。

また大学側が、Web出願制度を設けたり、学部の併願ができるようにしたりと制度改革を行っているので、その結果受験機会が増えたことも数字に表れているのではないかと考えられる。

### 6. その他

各学年より報告

#### ① 第1学年

●第1学年の目標は「学校が楽しい」と思えるようにすること。

総合的な学習の時間を利用して合唱コンクール、百人一首大会の開催を検討中。

44期生の、修学旅行はグアムに行くことが決まったので、ただそこに行くだけでなく、生徒にとって有意義な時間になるように企画を立てている。

修学旅行の目的としては、

- ・現地の学校を訪問し、生徒と交流することを通して、生徒たちの積極性や自主性を養う。
- ・異なる通貨を使うことで、お金の使い方や大切さを学ぶ
- ・現地の病院、刑務所などの施設を見学する機会をつくる。

などを考えている。

●LGBTについての学習

LGBTに関する職員研修を実施したのち、各クラスのHRの時間を使ってLGBTについての学習を行った。

●校外学習について

生徒たちの普段の授業では見ることができない姿を見ることができた。

## ② 第2学年

## ●京都へ校外学習に行った。

グループになって、各ポイントを散策した。また、修学旅行は北海道の帯広を予定しており、個人の旅行では出来ないようなことを体験するような修学旅行を計画中である。

## ③ 第3学年

資料のみ

## 7. 授業力向上委員会

大阪府教育センターの協力を経て、貝塚南高等学校の授業力を向上していく取り組みを積極的に行っている。教員間で授業見学を行い、お互いの良いところを吸収しあう場を設けることで、授業力を向上することを目的としている。

## 報告に対しての要望・質疑応答

- ・進路実績は外部に発信しているのか（中学校に理解してもらえればもっと良い）。
- ・学校の設備が充実していくことも中学校に発信できれば良い。

Q. クラブ入部率が減ってしまったのは原因があるのか。

A. クラスが減ったこと。アルバイトをせずに学校生活を送れる家庭の子が減ったのではないかと。クラブに入ることに意味を感じていない生徒が多いのではないかと。

→発表の場を増やしたり、外部から講師を呼んだりすることで発展するかもしれないとのご意見。

Q. 修学旅行の時の外国籍の生徒へのパスポート等の配慮はどうしているか。

A. 4月の段階で保護者にはグアムに行くということを伝え、懇談でパスポート取得についての説明を行った。

Q. プロジェクターの導入について。どんな風に効果的なのか、具体的なものがあれば教えてほしい。

A.

- ① ICT 機器を活用することにより視覚的に学ぶ。
- ② 板書が多い時に時間の短縮につながり、机間巡視による個別指導の時間が確保できる。
- ③ 生徒に ICT 機器を使った発表の機会を与えることができる。
- ④ ICT 機器を導入し、授業について話し合うことで、教員が切磋琢磨する機会をつくることできる。（今後、教員研修を充実していく予定。）

**6**協議事項

## ① 教科書用図書の選定について

教科で教科書について検討し、別表のとおり集約したものである。これをもとに、校内の調査委員会を経て選定を行う。校内選定の後、大阪府教育委員会に提出採択される見通し。

－特に意見等はなし。

## ② 平成 28 年度学校経営計画について

昨年度第 3 回に示したものと基本的に変更なし。平成 29 年度での改善策について説明。

また、学校教育自己診断の保護者からの要望・意見に対して回答を作成し配付したことを説明。

## ③ 平成 29 年度学校経営計画について

昨年度第 3 回に示したのものから、学校経営推進事業に関わり、授業力向上について追加した部分あり。

今回は時間がないこともあり、学校経営計画についての意見や要望はなく、今後の取り組みを見て、第 2 回、第 3 回の協議会で意見等をいただくこととする。

**7**事務連絡

第 2 回および第 3 回の協議会の日程を確認。